

<令和4年度>

しょうがくせいとう よういくほうしん
小学生棟 養育方針

【養育目標】

3つの『あい』～助けあい・認めあい・信じあい～

【生活目標】

1. 基本的生活習慣を知り身につけよう
2. 自分や相手を大切にしよう
3. 自分の気持ちに気づく
4. 目と肌で感じ興味関心の幅を広げよう



【生活について】

1 基本的生活習慣を身につける。

- * 大人がモデルとなるが、何事においても子どもと一緒に学ぶ姿勢を心がける。また、楽しく健康的な生活が送れるよう工夫を凝らし、スキルを習得できるよう支援する。
 - ・時計や予定表を確認し、時間を見て生活する習慣を身につける。
 - ・気持ちのいい返事、あいさつをする。
 - ・TPOや季節に合わせて身だしなみを整える。
 - ・歯磨き、耳掃除、洗髪、洗体の方法を学び、体を清潔に保つ。
 - ・おこづかいの使い方を知る。(貯金の大切さ、買い物を通して金銭感覚を身につける)
 - ・心地よい睡眠をとり、早寝早起きの習慣を身に付ける。

2 食育

- * 食事のマナーを身につけられるよう支援する。
- * 毎日の食事ができること、作ってくれる方への感謝の気持ちを忘れず食事ができるよう支援する。
- * 行事食の意味や季節の料理など、子ども達が楽しく学びながら食事ができるよう支援する。
 - ・食事のマナーを適切に身につける。(肘をつかない、椅子にきちんと座る、茶碗を正しく持つ、お箸を正しく持つ)
 - ・落ち着いた環境の中で、みんなが楽しめる食事の雰囲気をする。
 - ・行事食を頂きながら、行事の意味や旬の食材を知り季節を感じる。
 - ・調味料の正しい使い方を知る。



- ・大人と一緒に料理しながら、調理器具の使い方や工程を学ぶ。

3 健康

- *衛生面に配慮し、快適な生活環境を整えていく。
- *日常の健康管理や、身体測定を通して、病気の予防に努め、健全な成長発達を支援する。
- *年齢に応じて自分の身体を知る機会を提供する。
 - ・遊びや体力づくりを通して健康な体をつくる
 - ・手洗い、うがい、消毒をしっかりとし、病気から自分の体を守る

4 物を大切に

- *整理整頓の方法を一緒に考え、行うことで整った環境が心地いいと感じられるよう支援する。
- *物に込められた人の思いを感じ取れるよう支援する。
 - ・整理整頓の方法を知り身に付ける。(学習机・ベッド・タンス・共有のスペース)
 - ・貸し借りのルールを身につける。
 - ・使ったら、元にあった場所に片付ける。
 - ・物の正しい扱い方を知る。
 - ・物を壊す・なくすことを重く受け止め、探すこと、修理することの大切さを学ぶ。

5 人間関係

- *お互い大切にし合える関係を目指し、感情表現の大切さが理解できるよう支援する。
- *大切にされているという安心感を感じ、集団の中での役割や居場所を見つけられるよう支援する。
 - ・自分の気持ちに気づき、適切な表現ができるようになる。
 - ・小学生会や担当会を通して自分の意見を伝えられるようになる。
 - ・仲間を思いやれる気持ちを持つことができる。

6 学習

- *学習意欲を高め、自信につながられるよう、心理士との連携を図り、個々の発達段階に合わせて支援する。

(1) 宿題

- ・その日、出された宿題は最後までやりきり、基礎学力を身に付ける。
- ・自分で考える力を身に付けるとともに、間違ったところやわからない所を聞き理解する。
- ・時間の使い方を考えて宿題に取り組む。(週末・長期休暇の宿題の計画)

(2) 特別学習

- ・ 休日の学習時間を使って、個人の学力に合わせた自主学習を行う。
- ・ 余暇学習として、漢字検定を行う。

(3) 学習環境を整える

- ・ 学習に必要なものは、学習室に持ち込まない。
- ・ テストを見せ、テスト用ファイルに整理する。
- ・ 学習前後に机の上、棚の整理整頓をし、学習に集中できる環境づくりをする。



【行事】

- * 行事を通して共に生活する楽しさを感じられるよう支援する。
- * 季節の行事を大切にし、文化や伝統を伝えていく。
- ・ 早い段階から行事の意図を知り、行事に興味・関心を持って参加する。
- ・ 行事前の練習や準備の過程を大切に、達成感を味わう。
- ・ たくさんの人の協力を得て、行事に参加が出来ることを感じる。
- ・ 行事を通して人とのつながりを深め、自信の成長に気づく。

【保護者関係】

- * 各家庭の状況を把握し、段階に合わせて見通しを立てた上で、親子関係を構築して行けるよう支援する。
- * 保護者の思いを十分に聞き、園の子育てや子どもの成長について保護者に伝える中で、一緒に子育てをしているという気持ちを持ってもらえるように支援する。
- * こども家庭センターやFSWと連携を図り、支援方針を協議し適切な支援に繋げる。
- ・ 保護者・学園双方の子どもに対する思いを尊重し合い、話し合った上で、見通しを立てて支援をする。
- ・ 年齢に応じて親の思いを伝えていく。家庭の現状や状況を伝え、気持ちの整理をしていく。
- ・ 保護者の思いを大切にし、面会、外出、外泊等を調整する。(外泊の意図を伝える)
- ・ 保護者が子どもの成長を感じ、適切な関わりができるようになる。
- ・ 他棟との連携を密にとり、同じ見通しを持って、親子関係の調整をしていく。
- ・ 個人情報取り扱いについては、細心の注意を払う。

【学校・地域・友達関係】

1 学校

- * 社会のルールを学べる場であることを認識し、学校生活が円滑に遅れるよう支援する。
- * 学校との連絡を密に取り、園での生活と学校生活が一貫性を持って過ごせるように支援する。
- ・ 元気に楽しく学校に行けるよう、安全な登下校をする。
- ・ 忘れ物をしないよう、前もって確認を行い準備をする。
- ・ 自ら学ぶ姿勢を身につける。
- ・ 友人関係を大切にする。
- ・ 学校行事に参加し、地域の方との交流を通し、子どもの成長や友達関係を知る。

2 地域

- * 職員側が地域を知り、園が地域の一員であること、支え合って生活が出来ていることを感じられるよう支援する。
- ・ 地域の人達に見守られているということを感じ、進んで挨拶していく。
- ・ 地域行事に積極的に参加することで、日ごろ経験できないことを体験する。(色々なひととの触れ合いの場、自己発見の場、人との適切な距離間を知る場とする)
- ・ 外出先でのマナーを身につける。
- ・ 職員も地域の一員として、地域・保護者との関係を大切にする。
- ・ 学校・地域行事等の機会を利用して、地域の方との交流をする。

3 友達関係 (放課後の過ごし方)

- * 園以外の人との出会いを通して、社会性を学べるよう支援する。
- ・ 友達との約束の仕方を教え、約束や外出時の声掛けを習慣づける。
- ・ 子どもだけでの自転車の外出は個々に応じて許可を出し、サイズの合った自転車に乗り、ヘルメットを必ず着用、安全運転をする。
- ・ 校区外には子どもだけで出かけない。
- ・ 遊びに行った際には、相手のお宅での礼儀やマナーを大切にする。



【日課】

(平日) <small>へいじつ</small>	(休日) <small>きゅうじつ</small>	
6:30	8:00	起床 <small>きしょう</small>
6:45	—	マラソン
7:00	8:30	朝食準備・朝食 <small>ちやうしやくじゆんび ちやうしやく</small>
	—	登校準備 <small>とうこうじゆんび</small>
7:50～	—	登校 <small>とうこう</small>
—	9:00	学習 <small>がくしゆう</small>
	10:00	お手伝い <small>てつだい</small>
—	12:00	昼食 <small>ちゆうしやく</small>
14:45～	—	下校 <small>げこう</small>
		おやつ・宿題・くつろぎ <small>しゆくだい</small>
17:30		掃除・夕食準備 <small>そうじ ゆうしやくじゆんび</small>
18:00		夕食 <small>ゆうしやく</small>
		夕食片付け <small>ゆうしやくかたづ</small>
19:00～		入浴・くつろぎ <small>にゆうよく</small>
20:45		就寝準備・就寝・消灯 <small>しゆうしんじゆんび しゆうしん しょうとう</small>

